

家畜衛生だより

From 中央家保 豚用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会

新年度 所長挨拶

この度、中央家畜保健衛生所の所長に着任いたしました芦澤です。どうぞよろしくお願いいたします。皆様には平素から家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心より御礼申し上げます。

さて、平成30年9月に岐阜県で発生したCSF(豚熱)は、10府県58事例の発生があり、野生イノシシの感染は12県で確認されています。このような状況のもと、本県におきましても、今年2月17日から飼養豚へのCSFワクチン接種を開始し、3月末までに県の北部地域を中心に141農場、132,212頭の接種が完了したところです。6月までの全戸接種完了に向けて実施して参りますので、皆様の御協力をいただけますようお願いします。

また、近隣国においてASF(アフリカ豚熱)が猛威を振るっており、我が国への侵入が大変危惧される状況となっていることから、3月の家畜伝染病予防法の改正により飼養衛生管理基準が強化され、野生動物の侵入防止、エコフィードの加熱などが義務化されることとなりました。伝染病の発生防止のため飼養衛生管理基準の徹底についてより一層の御配慮をお願いします。10年前の4/20、宮崎県で口蹄疫が発生し、29万頭もの家畜の尊い命が失われました。今回のCSFでも16万頭もの尊い命が犠牲になっています。このような惨事を二度と招かないよう、皆様の御理解をいただけますよう重ねてお願いします。

鶏では、昨年度、国内では高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生はありませんでしたが、近隣国では未だに発生があり、引き続き警戒が必要です。

牛では、豚熱への対応のため、ヨ一ネ病検査を1年延期させていただくことにしました。BVDやEBL対策については引き続き取り組んで参ります。

これからも、当地域の畜産を家畜衛生の分野から精一杯支えて参る所存ですので、よろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 芦澤 尚義

～令和2年度中央家畜保健衛生所 新体制～

千葉県舎

所長 芦澤 尚義☆
次長 武石 佳夫☆

☆:転入者

【防疫課】

主幹 木下 智秀☆
専門員 木下 喜絵
技師 土肥 世生
技師 斎藤 瞬

【衛生指導課】

課長 猪俣 一陽☆
主任技師 森 浩子
技師 山本 紗友里
技師 不破 友介☆
技師 清田 和花

【庶務課】

課長 山端 晶子☆
主査 渡邊 なな

転出者:森田 秀雄、篠原 栄里子、小川 明宏
藤野 晴彦、小澤 浩子、猪熊 道仁

佐倉庁舎

次長 篠原 栄里子☆

【細菌ウイルス課】

課長 松本 敦子
専門員 橘 美奈子
主任技師 三浦 良彰
技師 畑中 ちひろ
技師 倉橋 浩一☆
技師 高貫 秀幸

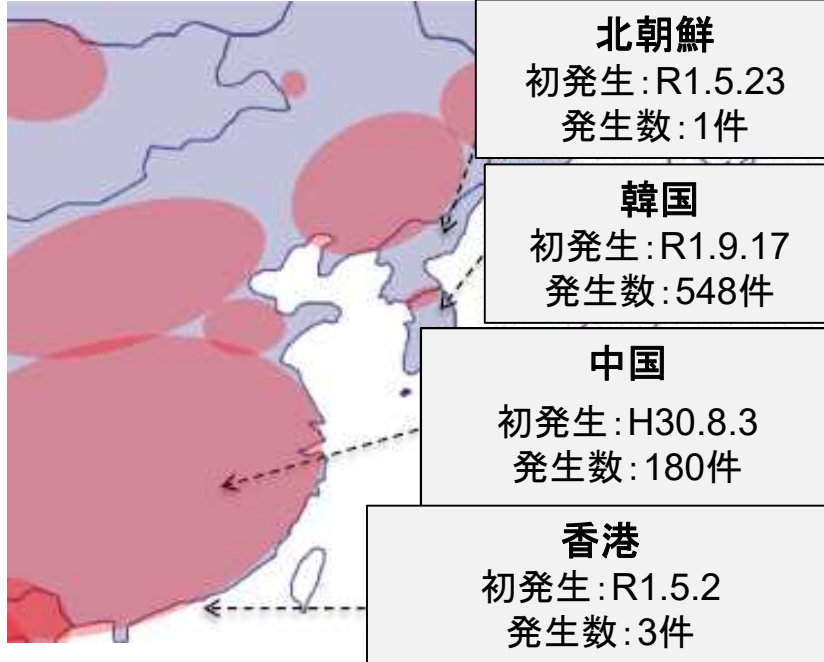
【病理生化学課】

課長 平畠 淳
上席専門員 関口 真樹
専門員 小林 大誠☆
主任技師 小山 祐介
主任技師 本多 芙友子
技師 島田 果歩
技師 二井谷 佳代

転出者:島田 純、綿村 崇宏、岡本 みさき
宗像 寛人

ASF、口蹄疫等に対する防疫対策を徹底しましょう！

【アジアにおけるASFの発生状況】



※発生数は初発生からの累計

参考：農林水産省HP
令和2年4月23日現在

【アジア諸国における口蹄疫の発生状況（令和元年度以降）】

国名	発生日	血清型	対象家畜
中国	R1.5.19	O型	牛
中国	R1.7.13	O型	牛
中国	R1.12.30	O型	牛
ロシア	R2.1.27	O型	牛・豚

参考：農林水産省HP
令和2年4月23日現在



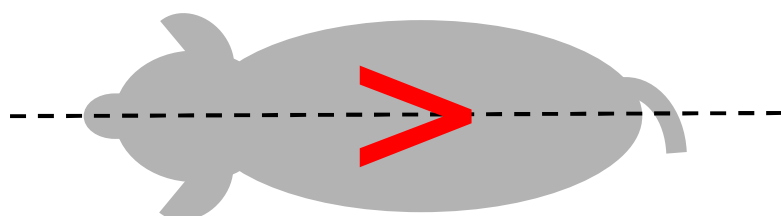
以下の内容を確認し、徹底しましょう！

- ・ ASF、口蹄疫等の発生地域への渡航を自粛する。
- ・ 海外で製造された肉製品などの畜産物を日本に持ち帰らない。
- ・ 農場入口に畜産関係者以外の立ち入り禁止看板を設置する。
- ・ 農場に出入りする車両を消毒し、農場周辺に石灰を散布する。
- ・ 防護柵、防鳥ネット等の破損部位を修繕する。
- ・ 手指、長靴を消毒し、畜舎専用の衣服、長靴を使用する。
- ・ 毎日必ず健康観察し、ASF、口蹄疫等を疑う症状を確認次第、直ちに家畜保健衛生所へ連絡する。

養豚農家の皆さまへお願い

CSF(豚熱)ワクチンを接種した豚をと畜場などへ移動させる場合、豚の背中に「V」が書かれていることを再度確認してください。

消えかかっている場合は赤かピンクのスプレーで「V」がはっきりと分かるよう、移動直前に書き直してください。



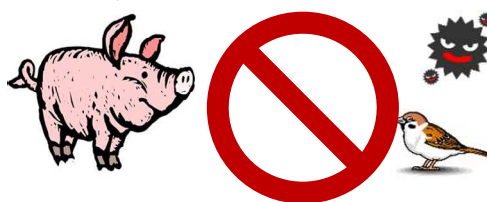
【塗装の方法】

- ・「V」字の上部を豚の頭側にする
- ・可能な限り、左右対称な「V」とする

畜舎等の開放部には防鳥ネット設置を！

飼養衛生管理基準の改正に伴い、令和2年11月1日までに畜舎、飼料保管庫、堆肥舎、死体保管庫などの開放部に防鳥ネット等の設置が必要になります。

防鳥ネット等の資材費を補助する事業の予算は確保できましたので、ぜひご活用ください(現在要望調査中)。



定期報告書の提出をお願いします！



提出期限は4月15日となっております


未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしくお願いいたします。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所にご連絡ください。


県内で豚流行性下痢(PED)が発生！

確定診断日	発生農場	症状
2/22 (24例目)	県北東部の一貫農場	肥育豚100頭で黄色水様性下痢
2/28 (25例目)	県北東部の一貫農場	哺乳豚100頭で黄色水様性下痢
3/9 (26例目)	県北東部の一貫農場	哺乳豚2腹20頭、肥育豚100頭で黄色水様性下痢
3/17 (27例目)	県北東部の一貫農場	哺乳豚50腹500頭で黄色・白色水様性下痢
3/19 (28例目)	県北東部の一貫農場	哺乳豚3頭で黄色・白色水様性下痢
3/23 (29例目)	県北東部の一貫農場	哺乳豚25腹250頭で黄色・白色水様性下痢
4/1 (30例目)	県北東部の一貫農場	哺乳豚200頭で黄色水様性下痢、5頭死亡
4/10 (31例目)	県北東部の一貫農場	哺乳豚1,000頭で灰色泥状下痢
4/10 (32例目)	県北東部の肥育農場	肥育豚40頭で黄色水様性下痢
4/20 (33例目)	県北東部の肥育農場	肥育豚40頭で泥状下痢


【以下の項目を再チェックし、PEDの侵入を防止しましょう！】




農場に出入りする車両と運転者の手指や運転席を消毒する。




農場に入る方は専用の衣服・長靴を着用する。




農場に関係者以外の立入禁止看板を設ける。




台帳やカレンダーを用意し、農場立入者の記録を残す。




新たに豚を導入する際、隔離豚舎で健康観察を行う。




と畜場等の畜産関連施設に出入りする際、消毒を徹底する。




死亡豚を処理するまでの間、野生動物に荒らされないよう隔離する。



豚舎の入口に踏み込み消毒槽を設置し、農場入口に消石灰を散布する。



PEDワクチンを繁殖母豚に接種し、多量の抗体を含む乳汁を哺乳豚に飲ませる。
※哺乳豚に接種しても効果はありません！



下痢・嘔吐を呈する豚を発見次第、すぐに家畜保健衛生所に連絡する。

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090